

あいわ 議会だより

No. 105

2022・5
(令和4年)



★藤原議長辞職 新議長に中山英一議員

★3名の議員から3件の一般質問

★臨時会・定例会 全案可決

令和4年度予算総額48億1千万円

新型コロナ復興応援券発行事業

愛別町議会ハラスメント防止条例制定

★人権擁護委員 篁 文雄氏 適任同意



第11次振興計画と町長公約について



はちろ さとし 議員
鉢呂 悟

町長 振興計画は変更しない、公約は誠心誠意努める

問 第11次愛別町振興計画は前町長

在任中に策定し、令和2年3月に議会に提出され、可決し、この計画に基づき計画実行されている。また、矢部町長の選挙公報は令和3年4月に町民に配布され、町民の支持のもと、当選された。

そこで下記の項目について伺う。第11次愛別町振興計画と町長公約はどちらが優先されるのか。

答 矢部町長 第11次愛別町振興計画につきましては、愛別町が策定する計画のうち、最も上位に位置する計画であり、本計画に基づき分野ごとに各種計画が定められており、当町が10年後に目指す将来像と、それを実現するための計画の体系や方針などを示したものになります。従いまして、町長公約により、計画に大幅な変更が生じる場合には、必要に応じ本計画を変更することにになります。

問 現在の第11次振興計画を変更する事項があるのか。あるならば、具体例をあげていただきたい。

答 矢部町長 私が掲げた町長公約のうち、新年度予算においては、「学校

完全給食導入と給食費無償化」と、「認定こども園の早期設置」の部分で予算提案させていただきました。この2点

につきまして、本計画の基本構想に盛り込まれておりますので、新年度より導入予定の「スクールランチ実施事業」につきましては、前期実行計画への追加を予定しておりますが、本計画自体を変更する予定はありません。

問 選挙公報で「今やらなければ町の未来はない」とあるが、町長になつて、その信念は変わりないか。

答 矢部町長 私の選挙公報に掲げました「今やらなければ町の未来はない」との信念に変わりはなく、次代を担う子どもたちへの施策の拡充を重点に、引き続き、強い危機感を持ってまちづくりを進めてまいります。

問 選挙公報での公約は任期中に全部実行できるか。また、できない事項はあるのか。

答 矢部町長 私の掲げた選挙公約につきましては、町民の皆さまからの賛同を受け、町長に就任させていただきまして、全ての公約実現に向け

て、誠心誠意努めてまいります。

問 振興計画の子どもの笑顔かがやくだ地あいべつこのキーワードが子ども政策である。しかし、現在の結婚・出産の事業は乏しい。そこで子育て支援を充実する為に仮称『笑顔・未来基金条例』を創設しては如何か。具体的に結婚祝い金30万円、出産祝い金100万円等子育て支援の充実を図る目的です。今回提案しますので、6月定例会でまた一般質問を行います。

答 矢部町長 お金によって子どもが増える、お金によって結婚するといふよりも、魅力あるまちづくりをしていかなければならないと私は考えております。



子育て支援センターの様子



奥議員の
一般質問の動画はこちら



おく としひろ 議員
奥 俊博

愛別小学校の夏場における 学習環境について

町長 涼しくなるよう出来るだけの予算措置を講じる

問 愛別小学校の元保護者の話では夏場の猛暑の時は、南に面している教室

室内が高温となり、特に3階では耐えきれない場合、北側の教室に移動して授業を行ったと伺った。この劣悪な学習環境が事実ならば早急に改善策をとるべきと考える。地球温暖化が言われている中で、北海道も猛暑日が続く状況下にある。実態がどのような状況で学校はどう対策をとったのか。また、教育委員会はこの状況を把握していただくのか伺う。子ども達が授業に集中できる最善の学習環境を提供することが小学校の設置者である町の責務と考える。町長、教育長に改善策を伺う。

答 馬場教育長 小学校の夏場の実態は、廊下に大型扇風機、各教室に家庭用扇風機や冷風機2〜3台を使い児童には水筒を持たせて水分補給をしながら授業を行っている。教育委員会も実態を認識し、昨年、新型コロナ関連の交付金を使い、壁を抜き風通しをよ

くできないか、エアコンが設置できないか検討した。しかし、構造的に難しく事業費がかかることから冷風機を購入した。校舎は建築後40年以上経過しエアコン設置等の設備投資は、今後の校舎の在り方について検討が必要だ。そのため、現状できうる対策を考えて学習環境の改善を進めていきたい。

そのための、現状できうる対策を考えて学習環境の改善を進めていきたい。

答 矢部町長 今後、小中一貫校も含めて校舎建設に向け、検討したい。

問 扇風機の近くにいた子どもが扇風機の風で体調を崩して早退したという事例も聞いている。もっと違った方策を考えるべきだと思ふ。

答 馬場教育長 今、考えられることは、風通しをよくする、学習場所の移動、学習時間帯の工夫等だが、いろんな情報を集めながら進めていく。

問 文科省が学校環境衛生基準の一部を改正し、平成30年4月1日に環境マニュアルが改定され「最も学習に望ましい条件は夏期で25℃から28℃。学校の設置者は、学校環境衛生活動が適切に実施されるよう、学校保健安全法第4条の規定に基づき、当該学校の施設及び設備並びに管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努められたい」となっているが、町長の考えを伺う。

答 矢部町長 できるだけだけの予算措置を講じて、涼しくなるように努力したい。子ども達が暑さで大変な目に遭っているという事実も、質問の中でわかった。必要なものは措置していく。

問 私の提案です。各教室の天井に

4基の扇風機をつけたらどうか。これは□□の換気という観点からも必要だと思ふ。金額を調べたところ1基当たり5万円程度。1教室4基、6学年で約120万円。そこに取付け工事費等がかかるが300万円程度で何とかつけられるのではないかと。新型□□に関連の基金を使えるのではないかと。

答 矢部町長 今の提案も教育委員会と協議し、しっかりと検討して夏場対策に備えたい。

問 全国を見ると学校内で熱中症での死亡事例も発生している。北海道も酷暑になっている状況からして、子ども達が汗を流しながら、水筒の水を飲みながら授業をしているというようなことを放置することは出来ない。そんな学習環境を愛別町が放置するわけにはいかないの、町長にはこの夏までに補正予算を組んでやっていただきたい。

答 矢部町長 この夏までということなので、内部と協議して、しっかりと対応していく。奥議員から提案があった天井付け扇風機。教室全体の温度が一定になるという利点があり、教育長とも協議し予算付けができるものであれば、急ぎ、今年度から予算付けする。



星議員の
一般質問の動画はこちら

一般質問



はしめ 星 議員

公民館図書室へ タブレット端末の導入を

教育長 タブレット端末活用の在り方について今後検討していく

問 愛別町の公民館図書室は、近隣町村に比べて狭く、蔵書も少ない。近年のタブレット端末はインターネットの閲覧だけでなく、読書や、映画、音楽の視聴まで行える。タブレット端末を図書室に導入し、読み放題のサービス等に加入すれば、蔵書もデジタル環境で増えることになる。旭川市の図書館のように映画や雑誌の視聴もできれば、小中学生だけでなく、大人の図書室利用も増えるのではないかと。行政執行方針・教育行政執行方針の中にも、まちづくりにおける未来技術の活用や、ICTの利用拡大について触れられている。以上のような理由から、愛別町の公民館図書室にタブレット端末の導入をするべきではないかと考えるが、町長、教育長の考え方を伺う。

答 馬場教育長 現在、小・中学校の児童生徒に1人1台の端末を導入している。タブレット端末を活用する機会が今後は格段に多くなっていくと考えられる。将来的には公共施設の様々な場所でタブレット端末が利用され、図書室での利用についても有効な活用につながると考えられる。現状において、制限、サービスの種類、予算等、近隣の図書館などの状況や情報などを調査し、タブレット端末の活用の在り方について検討していく。

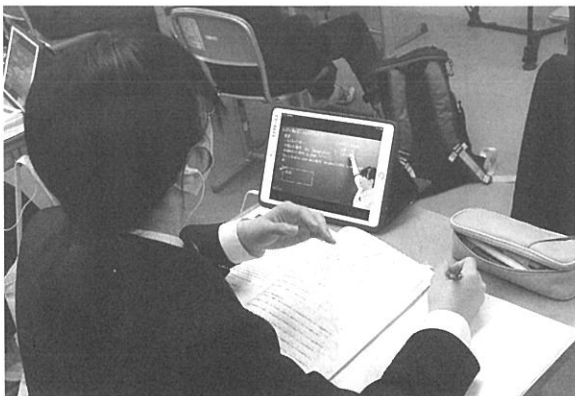
問 早いところでは2011年頃から図書館でのタブレット端末の利用、電子図書館の利用をしている。愛別町の図書室のように小規模な図書室を有しているところこそ、デジタル活用に敏感にアンテナを立てて取り組まなくてはいけない。施設の増改築等ではなく、サービスを利用して工夫するという話。町でもデジタル環境の整備をするという流れにあり、幅広いサービスの活用で、愛別町の図書室にはない機能の補完ということを考えていただきたい。

答 馬場教育長 質問でいただいた内容や、利用者のニーズも考えながら検討していきたい。

問 家庭にインターネット接続環境やタブレット端末が無い方が、小学校で勉強したこと、プログラム学習等に使用しているアプリを図書室で使えば、図書室の利用者増にも繋がる。図書室をタブレットの中に入れて、自分が読みたい本を端末の中で借りて、朝読書等に利用している学校もある。愛別町のタブレット端末の活用はまだまだ発展途上。遠隔授業、宿題への利用と共に、端末で利用できる電子図書館のサービスを提供してはどうか。代表的な会社は日本で4社程ある。少しお金を出したら雑誌を読めるサービスもある。そういうものを愛別町の公民館図書室から、児童

生徒、町民に対して提供すれば、タブレット端末も有効利用をできるのではないかと。世の中の「良い変化」を天いに利用するべき。お金がない、場所が小さいという愛別町の図書室をはじめ、各施設の環境の中にこそ、デジタル端末は必要。愛別町のデジタル環境整備について、町長にこの先の展望を伺う。

答 矢部町長 現在、愛別小学校と中学校がタブレット端末を利用した学習への対応がはじまった。今現在の蔵書の整理等も含め、教育行政の中で図書というものを考え直さなければならぬとも考えている。今回の星議員の意見も踏まえて調査し、事例を調べ、愛別町で取り組めるものがあれば取り組んでいく。



タブレット端末を使った学習風景

町議会審議結果

◇第1回臨時会		議決年月日：令和4年2月8日
議案番号	件名	結果
報告第1号	議会の委任による専決処分について	報告済
議案第1号	愛別町特定環境保全公共下水道愛別終末処理場の建設工事委託に関する協定の締結についての議決の一部変更について	原案可決
議案第2号	令和3年度 愛別町一般会計補正予算（第13号）	原案可決
発議第1号	議案第2号 令和3年度 愛別町一般会計補正予算（第13号）に対する附帯決議について	原案可決

◇第1回定例会		議決年月日：令和4年3月3日（1日目）
議案番号	件名	結果
調査報告第1号	総務福祉常任委員会所管事務調査報告	報告済
調査報告第2号	経済文教常任委員会所管事務調査報告	報告済
(議案第82号)	愛別町農村公園の設置及び管理に関する条例の制定について	経文付託 原案可決
議案第3号	愛別町議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	愛別町ホームヘルパー派遣事業手数料徴収条例を廃止する条例	原案可決
議案第7号	愛別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	愛別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	愛別町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	愛別町公園条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	愛別町水洗便所改造等補助条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	上川町村等公平委員会共同設置規約の変更について	原案可決
議案第13号	令和3年度 愛別町一般会計補正予算（第14号）	原案可決
議案第14号	令和3年度 愛別町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第15号	令和3年度 愛別町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第16号	令和3年度 愛別町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第17号	令和3年度 愛別町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第18号	令和3年度 愛別町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第19号	令和3年度 愛別町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決

町議会審議結果・第1回臨時会

◇第1回 定例会		議決年月日：令和4年3月16日（2日目）
議案番号	件名	結果
(議案第20号)	令和4年度 愛別町一般会計予算	予特付託 原案可決
(議案第21号)	令和4年度 愛別町国民健康保険特別会計予算	予特付託 原案可決
(議案第22号)	令和4年度 愛別町国民健康保険診療所事業特別会計予算	予特付託 原案可決
(議案第23号)	令和4年度 愛別町後期高齢者医療特別会計予算	予特付託 原案可決
(議案第24号)	令和4年度 愛別町介護保険事業特別会計予算	予特付託 原案可決
(議案第25号)	令和4年度 愛別町公共下水道事業特別会計予算	予特付託 原案可決
(議案第26号)	令和4年度 愛別町簡易水道事業特別会計予算	予特付託 原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について【篁 文雄 氏】	適任
発議第2号	愛別町議会ハラスメント防止条例の制定について	原案可決
発議第3号	コロナ禍での消費拡大対策の強化と水田活用交付金の見直しに関する意見書について	原案可決
発議第4号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	原案可決
発議第5号	議案第20号 令和4年度 愛別町一般会計予算に対する附帯決議について	原案可決

◇第2回 臨時会		議決年月日：令和4年3月31日
議案番号	件名	結果
議案第27号	令和3年度 愛別町一般会計補正予算（第15号）	原案可決
議案第28号	令和4年度 愛別町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
選挙第1号	議長の選挙【中山 英一】	当選

第1回臨時会

令和3年度 補正予算

◆一般会計

歳入歳出それぞれ1億69万8千円を増額するもの。

歳入

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（復興応援券発行事業に係る財源） 2,795万円増
- 住民税非課税世帯臨時特別給付金給付事業費 5,710万円増
- 事務費 300万円増

歳出

- 住民税非課税世帯臨時特別給付金事業 6,010万円増
- 高齢者生活福祉センター管理関係経費（燃料価格の高騰に伴う不足分） 215万円増
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,795万円増
- ※ 町民1人当たり1万円分の復興応援クーポンを発行
- 町営住宅一般修繕料 200万円増
- スクールランチ実施事業
- 配膳ワゴン等の備品購入費
- 小学校 123万円増
- 中学校 70万円増

附帯決議

◆令和3年度愛別町一般会計補正予算
(第13号) に対する附帯決議

提出者 星 肇 議員
賛成者 奥 俊博 議員
賛成者 阿木 潔 議員

一般会計補正予算(第13号)スクー
ルランチ実施事業の備品購入費につ
いては、議会に対して実施要項等の説明
が不十分であり、保護者説明会前の提
案でもあることから保護者の意見も反
映されていない。更に教育委員会の正
式決定に至っていないにも関わらず、
議会提案がなされた。その為、実施計
画に疑義が生じる結果となっている。
今後、議会と執行機関の信頼関係を損
なう事態が生じる事の無いよう、適切
な説明責任を果たすことを厳に求める
とともに、執行にあたっては議会説明
を十分行い執行されるよう措置する事
を求める。

第1回定例会

条例等の一部改正

◆愛別町営住宅条例

職員住宅・教員住宅・新興住宅を、
愛別町営住宅に加える改正。

質疑

横井議員

教員住宅が町営住宅化する

と、敷金等が発生して教職員の負担が
増える事になるのではないか。

矢野建設管理課長 町営住宅と同じ扱
いになるので、これから入居して頂く
方には家賃の3か月分の敷金を払って
頂く事になる。

◆上川町村等公平委員会共同設置規約
上川中部福祉事務組合を加える改正

令和3年度 補正予算

◆一般会計

歳入歳出それぞれ1億6,212万
7千円を追加し、総額36億6,566
万1千円とする。

歳出

○地域おこし協力隊員2名募集に対し
て1名のみ採用のため

856万円減
○自治体DX導入に伴う住民基本台帳
システム改修業務 273万円増

273万円増
○障がい福祉サービス給付費
647万円増

647万円増
○重度障がい者医療費助成事業
医療費 252万円減

252万円減
○グループホームらびい指定管理料
361万円増

361万円増
○新型コロナウイルス接種業務
307万円増

307万円増
○スマート農業推進事業
対象減のため 147万円減

147万円減
○職員給与費 978万円減

978万円減
○国民健康保険特別会計
歳入歳出それぞれ71万1千円を追懐

し、総額4億1,266万5千円とす
る。

◆国民健康保険診療所事業特別会計
歳入歳出それぞれ87万2千円を追加
し、1億2,214万3千円とする。

◆後期高齢者医療特別会計
歳入歳出それぞれ108万円を減額
し、総額5,753万4千円とする。

◆介護保険事業特別会計
歳入歳出それぞれ465万5千円を
減額し、総額を5億6,579万8千
円とする。

○居室介護サービス給付事業
2,062万円増

2,062万円増
○地域密着型介護サービス給付事業
1,007万円減

1,007万円減
○施設介護サービス給付事業
1,500万円減

1,500万円減
○介護予防サービス給付事業
70万円増

70万円増
◆公共下水道事業特別会計
歳入歳出それぞれ191万8千円を
減額し、総額1億7,298万9千円
とする。

1億7,298万9千円とする。

◆人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員候補者の推薦について
議会で適任同意した。

【氏名】 笹 文雄 氏
【住所】 字本町267番地
【任期】 令和4年10月1日から
令和7年9月30日まで

諮問

発議

◆コロナ禍での消費拡大対策の強化と
水田活用交付金の見直しに関する意
見書について

新型コロナウイルス変異株の急速な
感染拡大による地域経済への影響が危
惧されることから、農畜産物の需要喚
起と消費拡大対策の強化、地方自治へ
の対策関連予算を十分に措置する事。
水田活用の直接支払交付金の見直し
にあたっては、各地域で事情が大きく
異なるため、生産現場の実態に考慮し
たきめ細かな対応を図る事。以上2点
に対して地方自治法第99条の規定によ
り意見書を提出する。

◆ロシアによるウクライナ侵攻に抗議
する決議
本年2月24日、ロシアはウクライナ
へ軍事侵攻を行い、さらに核兵器使用
について言及し原子力発電所を制圧す
るなど、国際社会を挑発している。
愛別町議会は、ロシア軍による攻撃
やウクライナの主権侵害に抗議すると
ともに、世界の恒久平和の実現に向
け、ロシア軍を即時に完全かつ無条件
で撤退させるよう、国際法に基づく誠
意を持った対応を強く求める。政府に
おいては邦人の確実な安全確保及び事
態の解決に向けて万全を尽くしてい
たい。

発議 愛別町議会ハラスメント防止条例の制定について

(前文)

町民から負託を受けた町議会議員及び町長並びにすべての町職員は、町政に携わる権能と責務を深く自覚し、公共の福祉の増進という地方自治の本旨を体現するとともに、住民全体の奉仕者として住民福祉の向上に努めなければならない。ハラスメントは、他者に対して行われる極めて悪辣な行為であり、ハラスメントに対する無自覚によって相手に被害を与える「人権侵害」である。

また、ハラスメントは基本的人権、個人の尊厳を著しく傷つけ、議会活動に支障をきたし、議会の社会的信用及び信頼を失うことにつながる。特に町職員に対するハラスメントは議員と町職員という人間関係を背景とするため顕在化しにくい上に、不当に町職員の尊厳を傷つけ、最悪の場合、回復不可能な肉体的、精神的な被害をもたらす、ひいては人材の喪失、行政の停滞を招くことになり、更には議員への町民の信頼を裏切ることになりかねない。

愛別町議会は、議員及び議会としての役割を十分発揮するため、互いに人格を尊重し相互信頼を深めることを通じて、ハラスメントの防止に努め、信頼される議会の実現を目指すことを決意し、この条例を制定する。

※この条例内にはハラスメントの定義、遭遇した際の対処法、措置や処罰について詳細に記した。

※令和4年4月1日より施行。

附帯決議

◆令和4年度愛別町一般会計予算に対する附帯決議

提出者 奥 俊博
賛成者 久米 啓一
賛成者 中山 英一

産業振興課の事業について、議会に対し説明が不十分な結果となり、予算審査特別委員会を中断し、全員協議会を開催するに至った。所管事務調査において十分な説明もなく予算案が上程

されたことは、不適切な対応であったと指摘せざるを得ない。今後、適切な説明責任を果たすことを厳に求めるとともに、執行にあたっては議会説明を十分行い執行されるよう求める。



第2回臨時会

令和3年度補正予算

◆一般会計

歳入歳出それぞれ2,675万2千円を追加し、総額36億9,241万3千円とする。

歳入

- 地方消費税交付金 (社会保障財源分) 499万円増
- 地方交付税 特別交付税 2,236万円増
- 余剰財源2,807万1千円を財政調整基金へ積み立て

議長の選挙

藤原議長より辞表が提出されたため、地方自治法第103条第1項の規定により愛別町議会議長の選挙が行われた。選挙の結果、指名推薦で中山英一議員が新議長に選出された。議長選出に伴い、委員会の正副委員長の一部に変更が生じた。変更点のみ以下に記す。

- 議長 中山 英一
- 議会運営委員会
- 委員長 鉢呂 悟
- 副委員長 横井 均
- 総務福祉常任委員会
- 副委員長 阿木 潔

議長辞任あいさつ

藤原 幸子



このたび「諸般の事情」により、議長の職務を退くこととなりました。

このような形で議長の任期を全うすることが出来ないことは、私の不徳のいたすところです。とても残念です。良い経験をさせて頂きました。

議長就任あいさつ

中山 英一



この度、藤原議長の辞職を受け、議会にて議長の指名推薦をされました。

再登板ではありますが、町民の皆さんの安心、安全、安定した生活の維持向上のために、議会の役割である「具体的政策の最終判断」「行財政運営の批判と監視」を大事にして、議員の皆さんとともに歩みたいと存じます。今後ともよろしくお願いたします。

第2回臨時会

予算審査特別委員会

令和4年度予算審議のため、予算審査特別委員会が設置されました。委員長に星肇議員、副委員長に鉢呂悟議員が指名され、各会計の予算審査が行われました。
各委員からの質疑があり、一部を要約して掲載します。(審査項目順)

会計名		令和4年度予算
一般会計		32億1,900万0千円
特別会計	国民健康保険	3億5,505万0千円
	国民健康保険診療所事業	1億1,447万7千円
	後期高齢者医療	5,674万6千円
	介護保険事業	5億2,066万1千円
	公共下水道事業	2億1,699万1千円
	簡易水道事業	3億3,100万4千円
令和4年度合計		48億1,392万9千円

一般会計 歳入		全体に占める割合
町 税	2億5,108万0千円	7.8%
地方交付税	18億7,100万0千円	58.1%
使用料及び手数料	7,854万5千円	2.4%
国庫・道支出金	4億5,345万0千円	14.1%
その他(各種交付金等)	3億4,457万5千円	10.8%
町債(借入金等)	2億2,035万0千円	6.8%

一般会計 歳出		全体に占める割合
総務費	3億1,095万9千円	9.7%
民生費	4億9,993万7千円	15.5%
衛生費	7,854万5千円	8.8%
農林水産業費	2億1,177万3千円	6.6%
土木費	4億8,299万1千円	15.0%
消防費	1億8,608万0千円	5.8%
教育費	2億4,633万2千円	7.7%
公債費	3億5,593万0千円	11.1%
職員給与費	5億3,129万5千円	16.5%
その他	1億1,166万5千円	3.3%

鉢呂委員 シーズン、雪による事故が多発して数名の方が亡くなった。対策は取ったのか。事故の予防等に対する予算措置はしたか。

矢部町長 ケーブルネットあいべつ等で周知した。職員等にも声をかけをするよう話している。予算を組む考えは今のところ無いが、次年度に向けての計画を内部で協議する。

鉢呂委員 愛別町で大人の第3回目のコロナワクチン接種と、お子さん達のワクチン接種の進捗は。

大山保健福祉課長 3月7日の時点で77.1%の方が追加接種を終えている。小児ワクチンは5歳から11歳までの方が対象で、対象者は108名。1回目のワクチンを50名の方に接種させていた。2回目は3月29日に50

名のワクチン接種をさせていただいて、終了させていただく予定。

奥委員 北海道移住促進協議会主催のイベント参加等に対しての予算付けはあるか。

石川総務企画課長補佐 今回、募集する地域おこし協力隊の諸会議の項目に50万円を予算として計上しており、北海道移住交流フェアへの出店負担金等もこれに含まれる。昨年はコロナの状況を勘案して欠席した。

奥委員 北海道移住促進協議会のホームページで各町の地域おこし協力隊の募集内容が掲載されている。愛別町はここで動きかけをおこなっているのか。

石川 今までではない。今回、新たに予算付けをさせていただいて、協議会と連携を図って募集活動に取り組む。

阿木委員 北海道日本ハムファイターズ応援大使事業は具体的にどのような事業をやるのか。

石川 札幌・旭川の試合、2試合の観戦ツアーとヒーローインタビュー時に愛別町の特産品を出す。また、「なまらうまいっしょ!グランプリ」町村の特産品の販売イベントへの出店・参加をする。

鉢呂委員 愛別町の日ハム応援大使2名の選手の名前は。

石川 中島卓也選手と郡拓也選手の2名が応援大使になっている。表敬訪問で愛別町に来ていただいて、小学校や中学校に訪問するというところもある。その際一般町民向けのトークショー等も企画したい。

中山委員 消防職員の定員、現在職員、救急救命士を持っている方は何名いるのか。必要な人員は確保できているか。

金子副町長 中部消防組合の時の定員が17名だった。現在は職員が16名で活動に支障はない。急救命士は実資格者7名のうち6名が活動している。シフトに必ず1名いることが望ましいというところで努力目標はある。新たに1名の救急救命士の資格取得を計画している。

林委員 国は2030年までにゼロカーボンを目指している。塵芥処理組合でゴミ処理をすると二酸化炭素が発生する。国の動向が出てから対策をするのか、先取りして対策する考えはないのか。

町長 塵芥処理場の施設は現時点での基準に沿った事業展開をしている。国からの施策や指導があればすぐに対応できるように準備する。

鉢呂委員 町立診療所の外来数がかなり減っているが、今後の見通しは。

阪口診療所事務長 全体的には減ってきているのは事実。人口自体が減ってきているので運営の改革等を考えていかなないと将来的に存続していくことは難しい。

鉢呂委員 外来患者を増やしていくという考え方が一般的だと思うが、具体的な考え方はあるか。

町長 他の病院等を受診されている方に、愛別診療所の良さや利便性を示して、利用していただくことが第一。

久米委員 診療所の過疎対策事業費の償還金3億3,500万円は令和5年

度から9年で償還することだが、元利償還金のうちの7割が地方交付税として入ってくるのはいつからか。

阪口 元金、利息 共に支払いが始まった年度から交付税算入されている。

中山委員 特用林産物生産施設等整備事業で5,105万円の概要は。

小森産業振興課長 平成28年度から年次計画で行っているこの施設の改修補助で、令和4年度は法人1ヶ所の改修を予定している。施設改修と増設をして生産量の増加を図るといった内容。今回の総事業費は2億0,420万6,364円(税抜)で、補助要綱に基づき4分の1の5,105万円を補助ということである。

久米委員 生産基盤整備事業補助金が昨年度より974万6千円減となっている。予定申請件数は。

中富産業振興課長補佐 畦畔の再構築と暗渠整備が2件、水稻育苗ハウスの移設が3件、暗渠・明渠の整備が2件、徐礫が2件で予算を組んでいる。昨年は国営事業の中で水稻の育苗ハウスの移設の件数が相当数あったが、今年は移設も3件ということが大きく事業費が減額している。

中山委員 小春トンネルの修繕工事の内容は。

重森土木係長 トンネル内の照明の購入を検討しており、自動調光装置、照明の分電盤、坑外灯の開閉器盤、LED灯6台、LEDの照明器具62台の購

入を予定している。設置工事は再来年度に予定している。

阿木委員 生徒制服等助成購入費および通学交通費助成は選挙公約では全額助成と言っていたし、保護者も期待している。なぜ半額助成なのか。

町長 全額交付したいが、今年度は新たな事業が出てきた。任期4年の間には行いたい。

奥委員 コロナで小学校が休校という状況でも、教育ICTの有効利用がされていない。教職員の研修にもしっかりと予算を付けるべき。

馬場教育長 日常的にいかにか活用していくかということが大事。教員も様々な研修に取り組みながら活用を図る。予算も限られているが、リモートでの研修や既存の施設なども生かしながら研修を進めていきたい。

星委員 タブレット端末を導入して1年が経つ。令和4年度にはリモート授業や宿題へのタブレット端末利用はどこまで進める予定か。

谷田教育次長 新年度から家庭へ持ち帰り利用できる準備を進めている。

星委員 認定こども園費の全体予算が、昨年の決算のさくら保育費と幼稚園費を合わせた大差がない。1本化になって事務作業の軽減等による削減効果は期待できないのか。

森川幼児センター長 予算のほとんどが施設管理経費ということになりますので、幼稚園と保育所が認定こども園に移行しても管理経費が大きく減ることは無い。

林委員 教育執行方針の中に「認定こども園の安定した運営を進めるための免許取得支援事業を活用する」ということが出ています。これは保育の資格しかない方に資格取得の支援をするという考え方が。

森川 令和7年3月までに両方の資格を取得する事が必要で、1名の方から資格を取得したいという申し出があり、予算は10万円を措置している。

林委員 保育士の数は足りるのか。

森川 来年度の子どもの数は42名で、今年度よりは13名減る。現状の保育士数があれば、しばらくの間は安定的な運営ができる。

林委員 今年から日曜日に遊び場として園庭開放をおこなうとのことだが、誰がそれに対応するのか。トイレはどうするのか。

森川 日曜日に誰かが常駐することとは考えていない。あくまでも保護者同伴のもとで園庭を使用していたことが原則。トイレについては農村公園のトイレ等を利用して頂く事を想定している。

鉢呂委員 スキー場の駐車場が狭い。小学校横の路上に車を駐車する事になり、交通事故や人身事故等が心配。補助事業等も有効利用しながら、ファミリースキー場を補改修し、観光地の1つとして位置付けできるように構想を持っていただきたい。

町長 駐車場が非常に狭いということでは理解した。提案されたことが可能かどうかを内部でも前向きに協議する。

林委員 あすなる広場の利用状況は。

谷田 ゲートボール場とテニスコート

常任委員会報告

◆総務福祉常任委員会

で、令和2年度は24名が利用した。
林委員 利用者が少ないのなら、思い切ってスケートボード場にしてはどうか。夏のオリンピックの影響を受けている子ども達もかなりいるのではないかと。愛別町の認知度も高くなると思う。

町長 今の状態では新たに整備するのは難しい。しかしこのままでいいとは思っていないので、今後の検討材料にさせて頂く。

鉢呂委員 町長にとって今回の予算の一番の目玉は何が。

町長 一番は給食と幼保一元化。町の未来は子ども達にかかっており、その子ども達を健やかに健康に育てるということを一番のメインとして予算を載せた。大人の方たちも安心して老後を過ごしていただけるような形をとりたい。

鉢呂委員 令和3年度の最終段階で約19億の財源が基金として積み上げられている。町長のやりたいことや町民の声を真摯に受け止めて、今後の予算編成に努めていただきたい。

町長 予算と計画を注意しながら組むのが私たちの仕事。かなり厳しい財政状況であり、単年度だけでなく先の事も考えている。それをご理解いただきたい。多くの要望を寄せて頂きたい。

以上、慎重審議を重ねた結果予算特別委員会において7会計は全て可決すべきものと決定し、本会議において予算特別委員長の報告の通り可決した。

○愛別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

◎調査日 令和4年2月17日

調査の結果

国民健康保険税の均等割額について、未就学児1人当たり2分の1減額する。

●軽減後の均等割額

○医療分均等割額	
7割軽減世帯	2, 850円
5割軽減世帯	4, 750円
2割軽減世帯	7, 600円
軽減のない世帯	9, 500円
○後期高齢者支援金分均等割額	
7割軽減世帯	1, 125円
5割軽減世帯	1, 875円
2割軽減世帯	3, 000円
軽減のない世帯	3, 750円

上記の説明を受け、調査を終了した。

○特別養護老人ホームいこいの里「あい」大規模修繕について

◎調査日 令和4年2月17日

調査の結果

特別養護老人ホームいこいの里「あい」は建設から19年を迎え、令和2年度には経年劣化が特に著しかった塔屋6か所の屋上防水は終えたが、そのほかの外部に関わる部分についても劣化

が著しい現状から大規模改修を必要としており、愛別福祉会より財政支援の要望を受け、令和4年度予算において補助する。

○事業概要

- ①屋上防水改修
- ②屋根板金・笠木塗装塗り替え
- ③窓回りおよび外壁防水シーリング打替え
- ④外壁塗装塗り替え

○事業費総額

8, 445万8千円
 ※8, 445万8千円のうち、2分の1は町からの補助金とし、残りの2分の1は愛別福祉会で負担する。
 (町の補助額の財源は過疎対策事業債を充てる。

上記の説明を受け、各委員からの質疑、意見を経て、調査を終了した。

◆経済文教常任委員会

○令和4年度における水田活用の直接支払交付金・水田リノベーション事業の充実・見直しについて

◎調査日 令和4年2月2日

調査の結果

令和4年度の事業の見直し事項に挙げられている、今後5年間一度も水張りが行われない農地は交付対象水田としない方針や、多年生牧草に対する戦略作物助成単価の大幅な引き下げとなることで、減額対象農業者の生活に大きな影響が出ることが問題点として挙げられた。

問 愛別町として取り組む対策は。

答 現在、道への質疑を集約している。また、国営事業に絡んだ影響が出ること、過去の生産調整の歴史を踏まえて見直しをして頂きたいという2点を意見として出している。各団体からも意見も吸い上げており、国や道からの情報を収集してこれから協議を行う。各農業者に対しては個別に協議をしていく。

問 愛別町の農地の価値の崩壊も懸念されている。町として農地を守る努力をする考えはあるか。

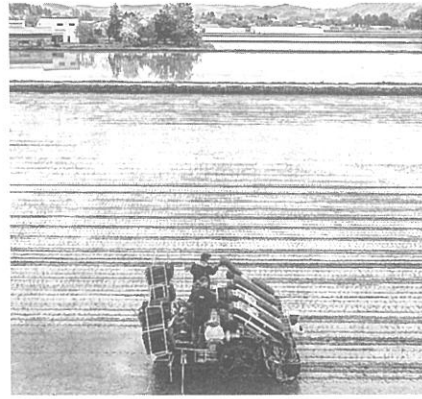
答 協議を続けていかななくてはいけない事案であり、知恵を出して農地を守



特別養護老人ホーム いこいの里「あい」

ることを考えている。

この他にも各委員から様々な質疑、意見を経て、調査を終了した。



金富地区の田植風景

議会のあしあと

■2月

- 2日 経済文教常任委員会
- 3日 上川教育センター組合議会（旭川市）
- 8日 議会運営委員会
全員協議会
第1回臨時会
- 10日 上川町村議会議長会定期総会（旭川市）
- 15日 上川中部福祉事務組合議会全員協議会（当麻町）

■3月

- 17日 総務福祉常任委員会
- 18日 全員協議会
- 21日 上川中部福祉事務組合議会（当麻町）
- 24日 全員協議会
議会運営委員会
- 3日 大雪浄化組合議会（比布町）
塵芥処理組合議会（比布町）
全員協議会
第1回定例会（1日目）
- 4日 大雪消防組合議会全員協議会
全員協議会
（美瑛町）
- 8日 議会運営委員会
- 9日 予算審査特別委員会（1日目）
全員協議会
- 10日 予算審査特別委員会（2日目）
全員協議会
- 16日 第1回定例会（2日目）
- 23日 大雪消防組合議会（美瑛町）
議会運営委員会
全員協議会
- 31日 第2回臨時会
議会広報特別委員会

■4月

- 6日 議会広報特別委員会
- 13日 議会広報特別委員会
- 19日 議会広報特別委員会

退任のあいさつ

太田 温子



この度の人事異動により教育委員会勤務となりました。約5年間

議員の皆様をはじめ多くの方々からのご指導やご協力をいただき大変ありがとうございました。貴重な経験を今後の糧として、微力ながらも引き続き、住みよいまちづくりのために努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

就任のあいさつ

木全 智美



4月1日付人事異動により、会計から議会事務局主幹を拝命いたしました。

微力ではありますが、円滑な議会運営ができるように精一杯努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

編集後記

現在の委員会構成での議会広報の制作も、残すところ1年となりました。愛別町議会では昨年度から一般質問のYouTube動画配信も開始し、町民の皆様に向けた議会を目指して情報発信を行っております。昨年度、町村議会広報全国コンクールに応募し、審査委員からの講評を頂きました。それらを参考に改善を繰り返して、町民の皆様にとり、少しでも分かりやすい議会だよりを目指して発行を続けていきます。今後ともよろしくお願いたします。（星 記）

議会広報特別委員会

委員長 奥 俊博
副委員長 星 肇
委員 阿木 潔
横井 均
久米 啓一

